

海底ケーブルから始まる コミュニティ参加 若手から見た“最初的一步”

京都大学大学院
吉川知輝

『坂の上の雲』へ続く道は、どこにあるのか
— ネットワークに関わる人の最初的一步と、その先へのつながりを考える —

自己紹介

吉川 知輝 (Tomoki Yoshikawa)

所属

- 京都大学大学院 情報学研究科 修士2年
- インターネット・セキュリティの研究

Home NOC Operators' Group 理事 (AS59105)

- ピアリング
- バックボーンネットワークの運用と構築



話のテーマ

1. 自分にとっての”最初的一步”
2. 一步を踏み出して変わったもの
3. “人材育成”とは

イベント参加歴

2023	07	JANOG52 Meeting in Nagasaki
	10	Internet Governance Forum 2023 Kyoto
2024	07	JANOG54 Meeting in Nara
	08	Asia Peering Forum 2024 in Chiang Mai
	10	NaniwaNOG 2 Meeting
2025	01	JANOG55 Meeting in Kyoto
	02	APRICOT 2025 in Petaling Jaya
	04	TWNOG 6 in Taipei

最初の入口: JANOG52 長崎

個人的に海底ケーブルが熱かった

たまたま「ケーブル敷設船きずな見学会」¹が開催

- JANOGというものすら知らずに参加

試験があったので船を見てDay1午前で帰宅

- 「敷設船のひみつ」 「JANOGの歩き方」にだけ参加

→ NOGというものを知る



15分先の異世界: IGF Kyoto

家から15分の場所で誰でも入れる国際会議をやっているらしい！

美味しいご飯もあるらしい！



「国連っぽい遠い話」が、急に身近になった

気づいたら偉い人と踊っていた

会場を歩いていたら懇親会に誘われたので参加
派手な会場で外国人と一緒に踊る
・軽く話したら偉い人だった



→ 遠いものと思っていた”国連”や
”インターネット”がとても身近に感じた

“人材育成”とは

船を見に来た人に船だけ見て帰らせない

“人材育成”とは

最初の一步は自分から

- 申込ボタンを押す
- 会場に行く
- 知らない人の中に入る
- 懇親会に残る

“人材育成”とは
飛び込んできた人にどう**新しい価値**を提供するか

場は何を返せるか

人材育成は誰のため

- “採用”だけで終わらせない
- それだけではもったいない

技術への興味を、次の議論につなげる

JANOGがそういう場所であってほしい

Thank you.

海底ケーブルから始まるコミュニティ参加
若手から見た“最初の一歩”

2026/7/17 JANOG58 Meeting in Matsuyama

京都大学大学院
吉川知輝

<https://www.facebook.com/marokiki.net>

『坂の上の雲』へ続く道は、どこにあるのか
— ネットワークに関わる人の最初の一歩と、その先へのつながりを考える —